

Living the

LOTUS

Buddhism in Everyday Life

4
2017

VOL. 139

開祖隨感

三世を生きる

私たちのいのちは、いまのこの世だけのものではなく、過去・現在・未来の三世に連なるものであることを、仏教は教えています。だからこそ、現在を精いっぱい生きることが大事なのです。それによって、過去も生かされ、また、その現在の生き方によって、未来の安泰も約束されるのです。

この三世にわたるいのちを見失うと、自分はなんのために、どう生きなければならないのか、羅針盤を失ってしまうのです。それで刹那的、感覚的な快楽ばかりを求め、物の豊かさだけを追いかけて、平気で資源を浪費し、環境を破壊する生き方になってしまうので

す。自分で自分の未来を閉ざす生き方に陥ってしまうわけです。

生物は、自分の持つ特徴を極限まで進化させようとする習性を持っているといわれます。それが命取りになってしまうことがあるのです。恐竜があまりにも巨大化して滅びてしまったのもそのせいではないか、という説があります。組織や社会も同じです。そこにいたる前に立ち止まらなくてはと、だれもが考えるのですが、それが止められなくなってしまうのです。三世の生命観を胸に刻みつけることが急務です。

(『開祖隨感』9, p. 96-97)

Living the Lotus 2017年4月号 (Vol.139)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537

東京都杉並区和田2-6-1 普門館5F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 水谷庄宏

編集チーフ: 金尾江利子

校閲者: 吉田晃一郎

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かせる仏教の教えをお伝えします。



時間の浪費

立正佼成会会長 庭野日鏡

大調和のなかで

私たちは、たとえば一日じゅう寝転んで無為^{むい}に時をすごすことを、時間のむだ遣い^{つか}といったります。わずかな時間も惜しんで何かに打ち込む。それが有意義な時間の使い方であり、時間の浪費は人生のむだに他ならない、と。

「毎日を最後の日だと思って生きなさい」とは、古代ローマの思想家・セネカの言葉です。時間をむだにしないよう、こうした心がけで日々を送ることが大事と、昔からいわれています。ただ、時間の浪費ということを天地自然に照らして考えると、時間そのものに縛^{しば}られない、もっとゆったりとした大らかな視点がありそうです。

仏道とは何かを著わしたある本に、「日常の起き臥^{おきふ}しは、すべて神通妙用^{じんづうみゆうゆう}と会得^{えとく}する」とあります。毎日の生活は、いずれのときも不思議な作用の連続であって、その不思議で自在な活動によって保たれている大きな調和の世界に、いま私たちは生かされている、ということです。

宇宙が誕生した不思議。その宇宙で、生命体が存在するための要素^{そな}を具えた惑星・地球に、人間として命をいただく不思議。そして、天地自然の大調和のなかで生かされていることの不思議……。このような大きな視点で時間の使い方を考えてみると、自分の狭い考えで「あの時間はむだ」とか「浪費だ」とはいえない気がします。

何もせずに寝転んでいる姿は、怠^{なま}けているようにしか見えないかもしれません。けれども、仏法の本質からすれば、人も物もすべての現象も、どれ一つとして、むだなものはないと見えてきます。「法の体は迷悟なく、凡聖^{ぼんしょう}なし」という言葉もあるように、自分勝手に凡夫^{ぼんぶ}と聖人^{せいじん}を分別^{ぶんべつ}するような見方ではない、神仏^{しんぶつ}の大いなるはたらきを感じとることができます。



不思議を觀じよう

では、調和の世界に住む私たちにとって、何が「時間の浪費」といえるのでしょうか。

私たちはみな「この世に願って生まれてきた」と、法華經^{ほけきょう}にあります。しかも、それは多くの人の幸せのために、と説かれています。つまり、私たちは調和の世界の一員として、みんなが幸せに生きられるよう、その調和を保つために生まれ、かつ生かされているということです。すると、人を傷つけるような言葉や態度、自分さえよければいいといった身勝手な行ないは、何よりもむだな時間の使い方といえないでしょうか。「時間は命の一部なんです」といったアスリートがいますが、こういう時間の浪費は「命のむだ遣い」とさえいえましょう。

ただ、私たちは知らず識らず^しのうちに、そうした「命のむだ遣い」をしがちです。「人生の無常^{むじょう}を痛感すると、いま生きている有り難さがはっきりとわかる。その自覚^{しやうじん}が精進^{しやうじん}の心を起こさせる」と学んだことがあります。自分がいま生きていることのも不思議と、その有り難さを自覚しないでただ漫然とすごしているために、私たちは調和を損なうような行ないをしてしまうのかもしれません。

道元禪師^{どうげんぜんじ}は「生死流転^{しやうじ るてん}する自分の身心^{かえり}を省みて、自分よりも他の人が先に幸せになるようにと願う菩薩^{ぼさつ}の心を起こしなさい」と書き残しています。無常、さらには絶妙のバランスでこの世を成り立たせている天地自然の不思議^{かん}を觀じたならば、ともに調和を築く者として、お互いに尊重^{そんちょう}しあい、仲よく生きなさいというお諭^{さと}しでしょう。

日本はいま、ちょうど草花の萌え出づる春を迎えています。その草花を愛で楽しむことは、命の不思議や無常を觀じる感性にも通じます。それはまた、いまを精いっぱい生きることの大事を知る機会でもあるのです。

(『佼成』2017年4月号)



ご法との出会い

国際仏教教会(IBC)
ロビンソン カソジ

この体験説法は、2016年6月26日に行われたIBCのサンデーサービスで発表されたものです。

みなさま、おはようございます。本日はお説法のお役を頂き、まことにありがとうございます。

私はロビンソン・カソジと申します。ウガンダから参りました。初めて日本に来た時、私は秋山商会という会社で働き始めました。秋山商会は、自動車のリサイクルと売買を行なう会社です。私はそこで、上司である秋山ミツ子さんと出会いました。秋山さんは、私にとって日本のお母さんのような存在でした。秋山さんは私の立正佼成会への導きの親でもありましたが、悲しいことに2013年2月に亡くなりました。

立正佼成会に入会して8年が経ちます。ウガンダから来た友人や職場の外国人の仲間と一緒に、これまで立正佼成会のIBCで仏教を実践してきました。キリスト教の家庭で生まれ育った私にとって、初めてのうちは、仏教を信じることはあまり簡単ではありませんでした。

そんな私でしたが、秋山さんは毎日我が子のように接してくださり、「仏さまの教えを実践したら必ず幸せになれるのよ」といつも教えてくださいました。お母さんは私をありのままに受け入れてくださり、いつも私のことを身も心も包み込んでくださいました。私は、お母さんの姿に仏さまの慈悲を見ました。お母さんのおかげで、私はご法に出会い、立正佼成会の会員になれたのです。

私は秋山家の一員のようにともに生活し、食事の時も一緒でした。また、家族でいろいろな場所に旅行

する時に、お母さんは私も連れていってくださいました。お母さんは、「ロビンソン、これを食べなさい、とっても美味しいわよ」と言いながら、あらゆる種類の日本の食べ物をすすめてくれました。お母さんのおかげで、私は今では日本の食べ物を何でも食べられます。納豆もお新香も味噌汁もイクラも、みんな大好きです。

お母さんはいつも、こんなふうに私に話してくださいました。「ロビンソン、黒人も白人も、すべての人間には同じように両親がいて、木の枝から生まれてきた人なんて一人もいないのよ。みんな両親からいのちを頂いているの。だから、あなたのお父さん、お母さん、お祖父さん、お祖母さん、曾祖父さん、曾祖母さんは、あなたにとってとても大切な人たちよ。だからみんなを大切にしないでダメ。今あなたは故郷から遠く離れて暮らしているのだから、毎日ご供養させていただいて、



サンデーサービスで説法をするカソジ氏

ご両親やご先祖さまに感謝の気持ちを伝えていきましょね」。そして、ご供養の仕方を親切に教えてくださいました。

2011年、私の家にご本尊さまが勧請されました。私が毎日自宅でご供養ができるようになったことを、お母さんはとても喜んでくれました。

悲しいことに、お母さんは2013年に突然亡くなってしまいました。でも、心配することはありません。なぜなら、お母さんはいつも私の心の中に生きていて、見守ってくださっているからです。これからもお母さんの教えを守り、仏さまの教えをたくさんの方々に伝えし、ご法にふれていただきたいと思います。

私の夢は、ウガンダやその他のアフリカの国々に立正佼成会の教会を建てることです。いつかその夢を叶えます。夢が実現した時には、誰よりもお母さんが喜んでくれるはずです。みなさんにその夢を支援していただけたら、本当にありがたいです。

日々の修行として、私は、開祖さまのような明るく、やさしく、暖かな人になりたいです。この目標に向けて、他人の良い所を見つけ、できるだけ多くサンガの友を

つくっていきます。そのための唯一の方法は、仏さまの教えを繰り返し実践し、仏さまに懺悔し、そして嫌なことをする人をも赦すことです。

ですからみなさん、他人の中に最善を見出す目、最悪のものを受け入れる心、悪い人を赦す心、そして、決して信仰を失わない魂を身につけるよう、いつも念じましょう。信仰と祈りは目には見えませんが、不可能を可能にする力があります。ですから、常に念じてしっかり信仰しましょう。そうすれば、夢は叶います。

仏さまの教えを実践し始めてから、様々な場面で仏さまが私を導いてくださっていると感じます。ですからみなさん、仏さまの教えを毎日実践しましょう。そうすれば、今抱えている問題を乗り越えることができます。

お母さん、私はこれからも精一杯努力していくことを約束します。お母さんのことが大好きです。ここにいらっしゃるみなさんも大好きです。昨日も今日も明日も、その思いは変わりません。

み仏さま、開祖さま、会長先生、吉永教会長さん、そしてここにいらっしゃるみなさんに感謝申し上げます。ご清聴、まことにありがとうございました。



秋山さんご家族とご供養をするカソジ氏(左から2番目)

ゲームに夢中の子どもにいのちの尊さを伝えたいのですが

Q

小学2年生の息子が遊んでいるゲームやカードの内容が気になります。戦闘に関連したものが多く、死んだ相手が「蘇生カード」や「リセットボタン」で生き返るという仕組みになっているようです。いのちの尊さを伝えたいと思うのですが、そうしたゲームが、子どもの心にどう影響するのか心配です。



A

さまざまな心配があるなかで、いのちの尊さを息子さんに伝えようとしているお母さんは、素晴らしいですね。

人間の考え方や価値観は、触れる条件によって育っていきます。だから、人は死んだら二度と生き返らないことや、空想と現実の違いなどを、日常生活のなかで伝えてほしいと思います。

そのためには、子どもの情的な面を豊かに育てていくことです。また、生き物だけでなく、ものにも「いのち」があることを伝え、たとえば、鉛筆、くつ、いす、おもちゃにもいのちがあるから大切に使うと思える心を育てていきましょう。

また、自然のなかで育まれている花や小動物、そしてたくさんの人とふれあうなかで、「悲しい、つらい、痛い、嫌だ」と感じた経験が人の心を育てていきます。生き物を飼うこともいいことです。かわいがっていた動物が死んでしまったら、もう二度と一緒に遊ぶことはできません。子どもと一緒に、悲しみを分かち合い、動物のお墓を作って花をたむけることも大切でしょう。そうしたなかで、いのちが終わることは悲しいことだけれど、人間はそれを乗り越えていかなければならないことも学んでいくことでしょう。

また、やさしかったおじいちゃん、おばあちゃんの死に出会えば、二度と話せない現実を目のあたりにします。そうした経験のなかで死の意味を、子どもなりに感じとっていくはずです。

いのちの尊さを教えていくのと同時に、もう一つ大切なことは、親自身が我が子に対して愛情たっぷりのふれあいをしていくことだと思います。子どもとスキン

シップをしながら、「パパとママの宝もの」としっかり伝えていきますか？人は自分が大事にされる経験を通して、初めて相手のいのちを大切に思えるようになります。そして、子どもが友だちを思いやり、大切にしている姿に接した時は、その場で、「あなたはやさしいのね。お友だちも喜んでいるわ。そういう子に育ててくれてうれしいわ」と、お母さんが喜んで伝えていきましょう。すると子どもは、「人を大切にする」という言葉と、自分の行動、そして、ほめてもらってうれしかった感情が一つになって、相手のいのちを大切にするこの意味をつかんでいくと思います。

子どもは育てられたように育っていくものです。毎日、毎日のふれあいを通して子どもの心にはたらきかけたいものですね。



Point 1 人は生き返らないことを伝える.....
ゲームやテレビなどの影響で「人は生き返る」と信じている子どもが多いそうです。子どもに死の意味を教えることも大人の役割です。

Point 2 子どもに愛されている実感を持たせる
自分が親に愛されていると分かってこそ、ほかの人も自分と同じように大事な存在だと知ります。親に愛されている尊いいのちだからこそ、他の人をも大切にしたいという心が育っていくのです。

(回答:東京家庭教育研究所)

協力: 東京家庭教育研究所

〒166-0012 東京都杉並区和田1-5-12

電話 03(3381)0705

FAX 03(3381)0723

<http://www.kateikyoiku.jp/>

東京家庭教育研究所は、「親が変われば子どもが変わる」という教育原理に基づいて、各地で講演会・講座を開催、また子育ての相談に答えています。多くの方が、「子どもに学ぶ家庭教育」を学び、たくさんの幸せな家庭が誕生しています。

いのちの尊さを伝える

「この世に無数の生物が存在するなかで、私たちが人間として生まれ合わせたのは、奇跡ともいえるほど稀有なこと、『有り難い』ことです。しかも、遅かれ早かれ死んでいく者が、いま、ここに、生かされて生きているのです。

この不思議な『有り難い』生命の尊さに目覚め、同時に他のすべての生命を讃嘆し、礼拝していくことが、仏法の生き方の根本です」(『こころの眼を開く』p. 70-71)と会長先生は教えてくださっています。

息子さんにいのちの尊さを伝えるには、いのちには限りがあることを知る体験が必要です。例えば親子で植物を育てるとか、昆虫を飼ってみるのもよいでしょう。いのちあるものが育ち、やがて死んでいくという場面に、親子で立ち会っていくことで、いのちには限りがあることを一緒に学ぶことができます。また息子さんが生まれた時のことを話してあげることで、いのちの誕生の不思議さを伝えることも大事です。

そうしたふれあいを通して、今ここに生かされていることの不思議さや有り難さを、親子で味わっていくことができます。そうした日々の積み重ねが、子どもさんの心にもいのちを尊ぶ心を育んでいくのではないのでしょうか。

(立正佼成会習学部監修)



Please give us your comments!



皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

Eメール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

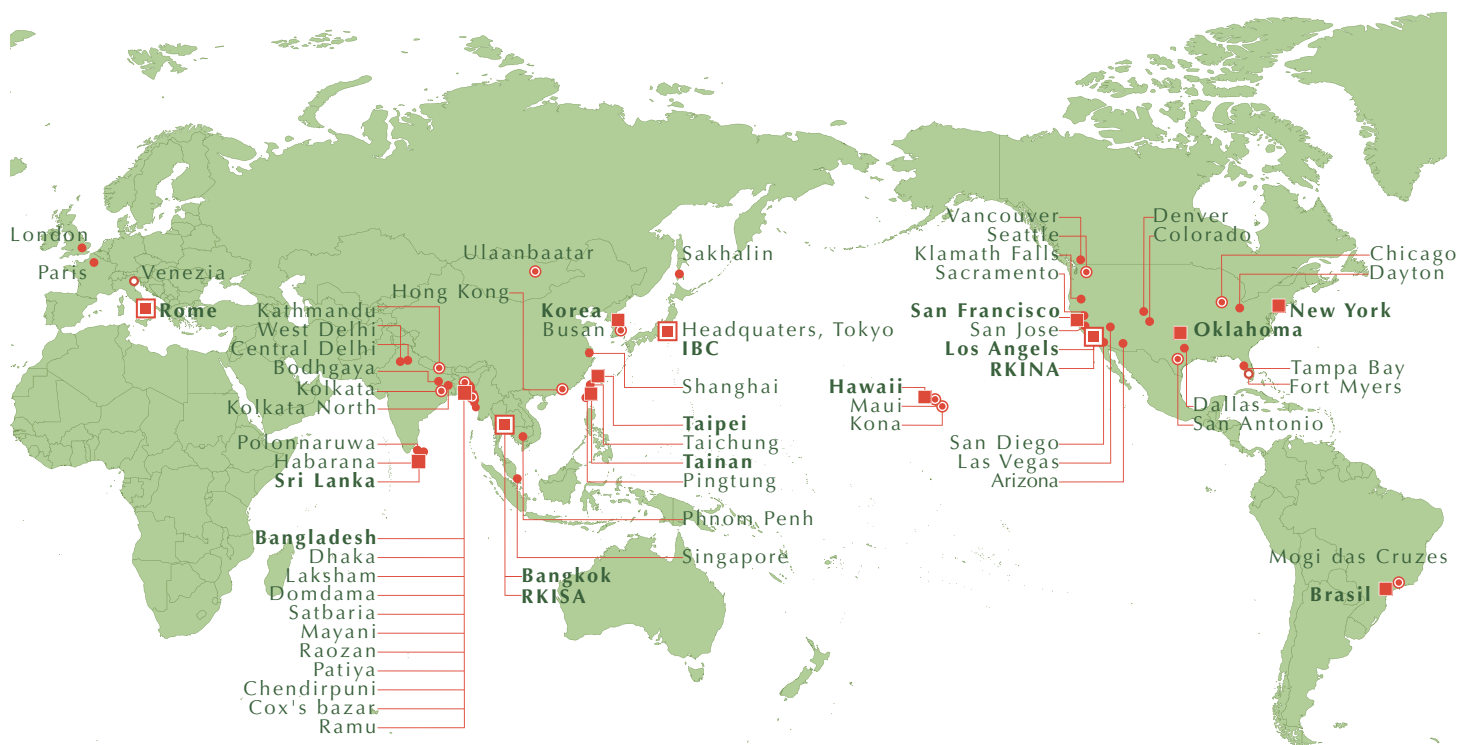
感謝のこころは光となって

今年の会長先生の年頭法話を覚えていますか？先日訪問したバンコク教会の皆さんにこう質問したところ、「テーマは『有り難し』でしたね」との答えが返ってきました。その通りです。会長先生は「感謝のこころを日常生活の中で表現し、実践してまいりましょう」とお示くださいましたね。

バンコク教会の皆さんは「私は自分のお店に来てくれるお客さん一人ひとりに何回も有り難うと言います。『有り難し』を毎日百回以上は使っています。」「私は一人暮らしなので人に直接感謝を表すことは難しいですが、食べるものにも何にでも有り難うと手を合わせています。」と発表くださいました。皆さんのよろこびの発表を聞きながら、感謝の実践は幸せを運ぶということを実感しました。

また、私たちは会長先生から「世を照らす灯明になりましょう」と教えていただいています。感謝のこころは光となり、世の中の不満、怒り、迷いの闇を除きます。これからも、感謝のこころを日常生活の中で表現し実践してまいりましょう。

国際伝道部長
水谷庄宏



Rissho Kosei-kai Overseas Dharma Centers

2017

Rissho Kosei-kai International

5F Fumon Hall, 2-6-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street Suite #1 Los Angeles
CA 90033 U.S.A.
Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437
e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center
28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, U.S.A.
Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261
e-mail: rkseattlewashington@gmail.com
http://buddhistlearningcenter.org/

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio
6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.
Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745
e-mail: dharmanantonio@gmail.com
http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay
2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.
Tel: (727) 560-2927
e-mail: rktampabay@yahoo.com
http://www.buddhismtampabay.org/

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.
Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633
e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center
1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.
Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center
73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, U.S.A.
Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.
Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567
e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.
Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437
e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, U.S.A.
Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499
e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, U.S.A.
Tel: 1-773-842-5654
e-mail: murakami4838@aol.com
http://home.earthlink.net/~rkchi/

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

http://www.rkftmyersbuddhism.org/

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112, U.S.A.
Tel & Fax: 1-405-943-5030
e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Klamath Falls

1660 Portland St. Klamath Falls, OR 97601, U.S.A.

Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204, U.S.A.
Tel: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419, U.S.A.
http://www.rkina-dayton.com/

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,
CEP 04116-060, Brasil
Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377
Fax: 55-11-5549-4304
e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,
CEP 08730-000, Brasil
Tel: 55-11-5549-4446/55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Zhongzheng District, Taipei City 100, Taiwan
Tel: 886-2-2381-1632 Fax: 886-2-2331-3433
http://kosei-kai.blogspot.com/

Rissho Kosei-kai of Taichung

No. 19, Lane 260, Dongying 15th St., East Dist.,
Taichung City 401, Taiwan
Tel: 886-4-2215-4832/886-4-2215-4937 Fax: 886-4-2215-0647

Rissho Kosei-kai of Tainan

No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
Tel: 886-6-289-1478 Fax: 886-6-289-1488

Rissho Kosei-kai of Pingtung

Korean Rissho Kosei-kai

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
Tel: 82-2-796-5571 Fax: 82-2-796-1696
e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
Tel: 82-51-643-5571 Fax: 82-51-643-5572

Branches under the Headquarters

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,
North Point, Hong Kong, Republic of China

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960
e-mail: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax : 39-06-48913949
e-mail: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK**Rissho Kosei-kai of Venezia**

Castello-2229 30122-Venezia Ve Italy

Rissho Kosei-kai of Paris

86 AV Jean Jaures 93500 Tentin Paris, France

International Buddhist Congregation (IBC)

5F Fumon Hall, 2-6-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 *Fax:* 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibc-rk.org/>

Rissho Kosei-kai of South Asia Division

5F Fumon Hall, 2-6-1 Wada, Suginami, Tokyo, 166-8537, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 *Fax:* 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**

224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,
110060, India

Rissho Kosei-kai of West Delhi

66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka
New Delhi 110075, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar,
Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur,
Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Singapore**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218
e-mail: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station: Mirshari,
District: Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendirpuni

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu**Rissho Kosei-kai Dhamma Foundation, Sri Lanka**

382/17, N.A.S. Silva Mawatha, Pepiliyana, Boralessgamuwa, Sri Lanka
Tel & Fax: 94-11-2826367

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**Rissho Kosei-kai of Habarana**

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Other Groups**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**